

後援会

イムマヌエル
聖宣神学院後援会
http://btc.jp.com/

BTC創立70周年に向けてⅢ ～立ってベテルに行こう～



会長 中山朝雄
(イムマヌエル中目黒教会)

「ヤコブは、神が自分と語られたその場所をベテルと名づけた。」(創三五の一五)この夏は想定外の酷暑が続き、その上様々な自然災害が起き、多くの祈りを献げる時でもありました。しかし、神様の御業は間断なく進められ、私達イムマヌエルの群れに素晴らしい恵みを下さいましたことを覚え心より感謝致します。

その一つは、神学院創立70周年記念事業の一環として旧女子寮改修が行われ、素晴らしい研修棟に生まれ変わった恵みです。この事業は後援会として祈り願っており、このたびは、この研修棟の名称を付ける特権をいただき後援会推進委員により冒頭の御言葉より「ベテルハウス」と名付けさせていただきました。八月十二日から始まるユースステーションのために、工事関係者は酷暑のなか突貫工事で間に合わせてくださいました。そして、献別式を内山教団代表をはじめ河村神学院長、田中進先生とユースステーションに集った若い方々、後援会推進委員、世話人の皆様と共に、恵み豊かな神様に心からの感謝を献げさせていただきました。

以前の女子寮をご存じの方々にとっては見違えるような素晴らしい施設となりました。是非来て、見て、お泊まりください。百聞は一見にしかずです。もう一つは、秋のBTC入学者が与えられた恵みです。既に十月の教報で報じられました西潟証兄(深川教会出身)24才です。全国の世話人の方々をはじめ皆様の篤いお祈りの故に若い献身者を与えてくださいました。神様は真実に心を合わせて祈る時に素晴らしい御業をなして下さいます。感謝です。今後の学びと訓練の上に主の豊かな祝福があります様に祈りさせていただきます。

「立って、ベテルに上り、あなたに現れた神のために祭壇を築きなさい。」(創三五の一)ヤコブが兄エサウからの逃避行の最中に石を枕に野宿をし

ていた時、彼に神様が現れました。そして、今後のヤコブの歩みの上に神様の祝福を約束され、励ましと力を頂き、その場所をベテル(神の家)と名付けました。その後ヤコブは、様々な試練の中を通らせられ身も心も疲れ切った時に「立ってベテルに上れ」との御言葉によつて、もう一度神様と出会った信仰の原点と言ったベテルに上って行きました。私達も日々の歩みの中で自分の力ではどう

聖宣神学院
創立70周年感謝献金の
お願い
目標 2,000万円
期間
2018年6月～2019年5月

しようもない問題課題に直面することがあります。そういう時こそ霊の初心に戻り、心をリフレッシュさせて頂きましょう。今般改修された「ベテルハウス」が、神様にもう一度出会い、献身を新たにして世に出て行く霊の刷新の場所として用いて頂ければ感謝です。

後援会は、BTC創立70周年感謝献金運動を実施しておりますが、献金方法について配慮不足もありご迷惑をおかけ致しましたことお詫び申し上げます。現在、主の恵み故に全国の教会、信徒の皆様から心このもった厚い献金が続けられておりますこと、心より感謝し主の御名を崇めております。

会長巻頭言	1
祈りの課題	2
BTC70周年感謝献金中間報告	1
秋季新入生証し	3
世話人ひと言メッセージ	4
ベテルハウス利用者の声	4
教師陣に、聞く	5
神学院での恵み	5
推進委員からひと言	6
院長コラム	6
編集後記	6

- ◆日々お祈りください
- ① 献身に導かれる方が与えられるように。特に、若い方々がさらに加えられるように。
 - ② 神学生の学びと訓練が祝されるように。
 - ③ 教師、職員、スタッフが恵みによって用いられるように。
 - ④ BTCキャンパス第2期工事のために。
 - ⑤ 二〇一九年の創立70周年の記念行事のために。整ったキャンパスに同窓生をお迎えできるように。
 - ⑥ 今後のキャンパス活用に主の導きがあるように。
 - ⑦ 神学院の必要が豊かに満たされるように。
 - ⑧ 後援会役員、推進委員、世話人が専ら用いられるように。